

反核医師の会 HANKAKU ISHI no KAI News ニュース

Physicians Against Nuclear War (PANW)
核戦争に反対する医師の会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木 2-5-5
新宿農協会館 全国保険医団体連合会内
電話 03(3375)5123 FAX 03(3375)1885
e-mail: panw@doc-net.or.jp
http://no-nukes.doc-net.or.jp/

いまこそ、日本政府は核抑止論の政策を転換し、 核兵器禁止条約に署名・批准を

反核医師の会が第20回全国大会を開催(6/9)

各位 2024年8月吉日
「反核医師のつどい2024 in 沖縄」
への参加・募金のお願い
実行委員長 樋口 豊
(反核医師の会世話人)

謹啓

盛夏の候、皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
また、日頃より「反核医師の会」へのご理解とご協力を頂きまして感謝申し上げます。

さて、第34回「核戦争に反対し、核兵器の廃絶を求める医師・医学者のつどい」(反核医師のつどい)は、本年11月3日(日)4日(月)に開催されます。

開催地は、昨年の北海道札幌から一気に国をまたぐように南下した、沖縄県那覇市となりました。

メインテーマは、「核も基地もいらぬ命(ぬち) どう宝の島から東アジアそして世界の平和を希求する」です。

軍事評論家で「台湾有事 日本の選択」の著者でもある田岡俊二氏をお迎えして、質疑応答形式の記念講演を企画しております。

日本政府は、「台湾有事」を合言葉に国民の恐怖心を煽るショックドクトリンで軍拡を企んでいます、その先に国民が望む平和が本当にあるのか?皆様と一緒に考える機会としたいと思います。

その他、「沖縄の核と基地・日米関係を再確認する講演」「沖縄で進展する基地の地元からの報告」などを予定しております。

現地参加はもちろん、WEB参加でも奮ってご参加ください。

国境地域での開催には、講師陣の旅費・宿泊費等々、多くの諸経費が予想されております。

「新たな戦前」と囁かれる昨今、「つどい」の成功と共に「平和維持」に繋げていくためにも、多くの皆様から財政的ご支援を賜りますと幸甚でございます。何卒、宜しくお願い致します。

敬白

※お振り込み先は4面参照。



全国大会にて、WEBからの報告を受ける現地の様子

核兵器禁止条約第2回締約国会議の成果と課題 山田寿則氏が記念講演

反核医師の会は、6月9日、第20回全国大会を東京で開催し、現地・オンライン併せて70人が参加した。午後の記念講演では、山田寿則氏(明治大学兼任講師)が、「核兵器禁止条約第2回締約国会議の成果と課題」をテーマに講演された。

記念講演の概要

核武装は安全保障にならない

核兵器禁止条約TPNWは被爆者のサーロー節子さんが言うように「核兵器の終りのはじまり」である。条約成立の背景は、20年余に及ぶ核軍縮の停滞と核の脅威の高まりおよび2010 NPT再検討会議の頃から有志国と市民社会が主導

して推進した核軍縮への人道的アプローチであった。国連加盟国の3分の2の賛成で成立し、現在までに批准国は70カ国で過半数に迫る勢いだ。これにより核兵器を悪とする国際規範が通用するようになる。

核保有国五か国とNATOは一貫してこれに反対を言い続けている。国連総会で毎年推進決議が行なわれるたびに核保有国とその同

盟国併せて30数か国は反対を唱え、その中に日本も含まれる。彼らの中には根強い核抑止論がある。つまり核兵器は自国の安全のためであるとする。使用の意思や脅威を示すためにミサイル発射や核実験も行われ続ける。

核兵器禁止条約締約国会議(MSP)の第2回は昨年11月、メキシコが議長国となりニューヨークで開かれた。これにはドイツ、ベルギーなどNATO加盟国も含めた35カ国のオブザーバー参加があり、オーストラリアは初参加。被爆国日本の参加は今回も見送られた。

今回は核実験場となった(2面につづく)

ガンマ線

広島陸軍被服支廠は爆心2.7kmだが外壁がレングの鉄筋コンクリートだったため損傷は軽く、倉庫が臨時救護所となり多くの被爆者を収容した。

峠三吉は知人の見舞いに訪れ、原爆詩集に「倉庫の記録」を残している。

3棟は県が、1棟は国が所有しており、1994年広島市が被爆建物に登録したが利用されることがなく耐震性などから取り壊しが検討された。保存を求める声が強くなり、検討の結果、被爆の痕跡を今に伝える最大級の被爆建物で500mも連続した歴史的景観には価値があるとして、今年1月に重要文化財に指定された。

切明千枝子さんは、母が被服支廠に勤務しており日中は託児所で過ごしていた。毛皮をとるために飼われていたウサギにえさをやるのが楽しかった。

県立第二高女に入り、学徒動員で被服支廠に行かされた。最初は軍服を縫っていたが、やがて血染めの軍服を洗濯して繕う作業に変わった。

原爆で建物疎開や工場に動員されていた300人の生徒のうち43人が亡くなり、切明さんも爆心2kmで頭をガラスで切った。

最近発行された歌集に「かくれんぼ かくれしままに消え失せし 友を探して 今日まで生きぬ」とある。

「国の言うことを無批判に無心に信じ続けていた。そのことが本当におそろしい。加害と被害の歴史があつた建物にのこされている。今まで100年も生きてきたから2度と過ちを繰り返さないために末永く伝えて欲しい」と語っている。

核兵器のない世界が1日も早く来るための拠点となることを期待したい。(K・A)



講師の山田寿則氏
(明治大学政治経済
研究所・写真左)
司会の中川武夫代表
世話人 (写真右)

(1面のつづき)

カザフ・キリバスの報告書提出と被害者援助・環境修復の課題が議論され、そのための国際信託基金を設けることになった。これへの期待は大きい。果たして十分なお金が集まるのか、非締約国の関与は期待できるのかとの懸念は残る。さらに核兵器の人道上の影響およびリスクに関する新たな科学的根拠をより説得力を持って展開すること、並びにこれを核抑止に内在するリスク及び前提と並べるることによって「核抑止に基づく安全保障パラダイムに異議申し立てを行う」ことも決定された。

T P N W 反対派は人道上の影響については認めつつこれも核抑止力の実効性を真付けるもの即ち脅しの力になるものとして宣伝する。核リスクについては十分注意すれば足りるとしている。はたしてその国にとって核兵器持てば安全かと言うこと

事実はそのようではない。核保有国が通常兵器で攻撃を受けている。誤使用や誤発射の危険も含めて核戦争の危険を増大させている。結局、自国の安全の利益にもならない。核対核の対抗は人類破滅につながる。

この辺りの説明はオーストリアが提唱し自らコーデイナーター役となつて力を発揮することになった。つまり平和のため外交努力を手を変え品を変え発揮し、核保有国をも議論の渦に巻き込んで行くという戦略だ。

講演後の質疑として、「核問題について戦争当事国の世論は」「若い人が声を上げられているか」「ヒロシマ・ナガサキがあつたから戦争は終わったとの議論がされているが」「外交重視するオーストリアの立場は」などの質問あり。最後に講師からの「人道上の帰結の強調だけで核抑止論に異議申し立てはできるのか」と言う問題提起が強く心に刺さった。

(代表世話人 天谷静雄)

全国世話人総会の概要

24年度方針、申し合せ事項の決定などを承認

午前中の世話人総会では、中川武夫代表世話人が「23年度の活動まとめと24年度の活動方針案」を、原和人代表世話人が「申し合せ事項改定」を提案し、討論の上、それぞれ承認された。

23年度決算と24年度予算、これまでの常任世話人から変更した世話人の選任を承認した。

また、核兵器禁止条約第2回締約国会議に参加した若手医師や医学生から支援への御礼と参加報告があつた。

さらに、今年11月開催の反核医師のついでin沖繩の企画紹介と参加の呼びかけ、Don't Bank On the Bombや学生部会の取り組みなどが報告された。

最後に、「いままそ、日本政府は核抑止論の政策を転換し、核兵器禁止条約に署名・批准することを求める」決議を採択し、閉会した。

(決議、申し合わせは、ホームページ参照)

ABC for Peace (いっぽプロジェクト)

立ち上げからの歩み

わかまつひろみ
若松宏実

(山梨県甲府共立病院小児科)



動画で反核を訴える活動(筆者左端)

先日、反核医師の会全国大会でご報告させていただきました。いっぽプロジェクト立ち上げからこれまでの歩みを改めて新聞の方でもご報告します。

ABC for Peace (日本語名: 平和のいっぽ、通称: いっぽプロジェクト) は、反核医師の会の理念に共感する若手医療者たちのチームです。「学ぶだけではなく行動する (Action)」「集まるだけではなく世代や各地の架け橋になる (Bridge)」「医師だけではなく医療者みんな (health Care workers)」をコンセプトとしており、2023年9月に北海道で行われたついで立ち上げました。

立ち上げ以後は、まず同年11月の核兵器禁止条約第2回締約国会議に向けて、日本がオブザーバー参加をすることを求める活動を行いました。全国各地の医療者でアピール動画を撮影し、発信しました。本番に向けて横断幕も作成し、それはNYに渡り、会議に参加したメンバーがデモで掲げて歩くことができました。

また、メンバーの中に

北海道パレスチナ医療奉仕団に参加している者がおり、学習したいという声が高まりました。イスラエルは核兵器を使用する可能性をほのめかしており、核の問題と無関係ではありません。ぜひみんなで学ぼうということ。団長の猫塚義夫先生をお招きしてオンラインも併用した学習会を行いました。全国から、約140名が参加しました。その後、メンバーは各地でパレスチナ解放を求めるデモに参加し、活動を共有しています。

今は、11月のついで準備をしています。本番11月3日の午前にフィードバックを主催します。そのプレ企画として学習企画も行いますので、ぜひみなさまもご参加ください。全国の新たな仲間と出会い、学び、行動できることを楽しみにしています。

各メンバーが、得意を活かして活動しているのもこのチームの特徴です。デザインが得意なメンバーがロゴを作成しました。足跡はいっぽの「い」の形、カラフルな足の裏や指の色で活動や人種の多様性を表現した、とてもかわいく、アイデアの詰まったロゴとなりました。

私たちは若手の反核運動に携わる医療者を増やすことも目標にしています。ぜひ、あなたも一緒に活動しませんか。



ABC for Peace
(いっぽプロジェクト)
HP

学生部会フィールドワーク 5/11~12 伝えていくことの大切さ

野代谷和樹

(国際医療福祉大学医学部5年)



平和記念公園「原爆犠牲国民学校教師と子どもの碑」

私は、5月11日から12日で行われた広島フィールドワーク(以下、FW)を経て、反核医師の会学生部会へ入会しました。この執筆を通して、私が広島FWで学んだことや、学生部会への入会の理由などを少しでも知っていただけたら嬉しく思います。

広島FWでは、平和記念公園の散策や語り部の方に講演をしていただきました。平和記念公園の散策で

は、ANT広島島の留学生の方々にガイドをしていただき、ひとつひとつのコメントについて深く学ぶことができました。また、夜には参加者とディスカッションをする時間もあり、FWで学んだことや今後の課題などを、共有したり深めることができました。

私は、中学生の頃の修学旅行で広島を訪れていたのですが、その時には全く気づくことができなかった数多くのモノUMENTが、平和記念公園の中にはありました。当時は、ガイドの方

は、ANT広島島の留学生の方々にガイドをしていただき、ひとつひとつのコメントについて深く学ぶことができました。また、夜には参加者とディスカッションをする時間もあり、FWで学んだことや今後の課題などを、共有したり深めることができました。

私は、中学生の頃の修学旅行で広島を訪れていたのですが、その時には全く気づくことができなかった数多くのモノUMENTが、平和記念公園の中にはありました。当時は、ガイドの方

もいなかったのですが、ひとつひとつの意味は全く分かっていなかったのですが、今回は丁寧に説明をいただいたので、モノUMENTの建てられた背景や事情を深く知ることができたとともに、原爆の悲惨さを改めて実感することになりました。数多くのモノUMENTの中でも、「原爆犠牲国民

学校教師と子どもの碑」が印象に残っています。教員が亡くなり悲しみにくれないながら、力強く踏み張って天を仰いでいる女性の像でした。最初に見たときは、自分の子供を抱えているのかと思いましたが、そうではなく、抱えられていたのは教え子だと知って驚きました。当時の広島には、幼

いために親元に残された低学年の学生や、建物疎開作業に従事させられた高学年の生徒が暮らしており、原爆によって数多くの幼い命が奪われたということを知り、悲しさと憤りを感じました。このように、FWでは沈んだ感情を抱くことが多かったのですが、一方で嬉しいこともありました。平和記念公園をガイドしてくださったのは、ANT広島島の留学生の方でした。海外の方が、日本人の私より広島のことについて詳しく

思議な感情を抱きました。海外の方が興味を持つてくれるという嬉しいことでしたし、今後も国を問わずより多くの人に、広島で起こったことを伝えていってほしいなと思いました。私ももっと広島について深く知り、発信していかなければならないと思われました。また、夜に参加者の方とディスカッションをした際に、同じような志を持つている人が多いということを知り、心強さを感じたのも嬉しかったです。

FWを通して、核の悲惨さを再確認するとともに、その事実を継承していかなければやがて風化してしまうことに、一種の恐怖のような感情を覚えました。様々なことが健康と関与している中で、平和というのはその基盤を担います。それは、平和でなければ人は健康でいられないということ

です。人の健康を守る医療者として、核のような平和を脅かすものを擁護してはいけません。まずは知ることから、そしてより多くの人に発信できるようにしたいと思

い、この機会に学生部会への入会を決意しました。人の健康を脅かす問題に対して、適切に発信し、少しでも改善できるような医療者になりたいという思いがより強くなったFWになりました。

核兵器禁止条約(TPNW)が2017年に国連で採択され、2021年に発効して、現在、93か国が署名し70か国が批准しています。唯一の戦争による被爆国である日本が、このTPNWに参加すれば、状況は一

変化します。NGO連絡会では、日本がTPNWに参加するために、今まで以上に大きな運動を作らなければならないとし、そのための資金やスタッフを確保するために、一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」を4月1日に立ち上げました。

この法人は「遅くとも2030年までに日本をTPNWに参加させる」ことを目的にしています。この法人を支える組織として、今までのゆるやかな連絡会としていた

に変わります。NGO連絡会では、日本がTPNWに参加するために、今まで以上に大きな運動を作らなければならないとし、そのための資金やスタッフを確保するために、一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」を4月1日に立ち上げました。

この「核兵器をなくす日本キャンペーン」の発足記念シンポジウムが4月20日明治学院大学にて開催され、100人余りが参加しました。冒頭、被団協の田中照巳代表委員が、「唯一の戦争被爆国の日本が核兵器をなくす先頭にたつて欲しい。日本政府が国際的な役割を果たしてもらう活動を超党派・超宗派で力を合わせてやっていこう」と呼びかけられました。その後、川崎哲日本キャンペーン共同代表から、このキャンペーンは何を指して、どういう活動を行っているのかの紹介がありました。

NGO連絡会は存続させました。反核医師の会も、常任世話人会がこのNGO連絡会に引き続き参加することを決めました。このNGO連絡会は個人参加も可能です。

この法人や連絡会は、参加する組織や個人の活動を指導するものではなく、各団体、個人が核兵器の廃絶に向けて独自の活動を旺盛に行い、それらが協働してより有効な運動になるように役割を担うものです。従って、各団体の活動が活発になればなるほど、大きな力となります。

この「核兵器をなくす日本キャンペーン」の発足記念シンポジウムが4月20日明治学院大学にて開催され、100人余りが参加しました。冒頭、被団協の田中照巳代表委員が、「唯一の戦争被爆国の日本が核兵器をなくす先頭にたつて欲しい。日本政府が国際的な役割を果たしてもらう活動を超党派・超宗派で力を合わせてやっていこう」と呼びかけられました。その後、川崎哲日本キャンペーン共同代表から、このキャンペーンは何を指して、どういう活動を行っているのかの紹介がありました。

ついでフォトジャーナリストの安田菜津紀さんが「終わらない戦禍、それでも核なき世界を目指すには」というテーマで講演され、「核兵器国が何をやっても止められない世界を残していいのだろうか、被爆者の人々が多くの言葉を私たちに残してくれている。それをどうやって実現していくのか、そのバトンが私たちに手渡されている」と、私たちがやるべきことを訴えられました。

その後、クロストークとして、哲学者の永井玲衣さんの司会で、若者を中心とする四人のスピーカーが登場して、「核兵器をなくす日本キャンペーンのこれから」というテーマで意見交換をしました。その中で核兵器の廃絶に向けて「つながる」ことの大切さと、その場合、「相手の意見を受け入れ、お互いの活動を尊重すること」の重要性が強調されました。

シンポジウムの後は、参加者との交流会が行われ、この場で、近畿反核医師懇談会が作成したD BOBキャンペーンソングを紹介し、大きな拍手で絶賛されました。(代表世話人 原和人)

「核兵器をなくす日本キャンペーン」が発足 4/20



「核兵器をなくす日本キャンペーンのこれから」についての意見交換

これまで核兵器廃絶に向けて日本のNGO団体、核兵器廃絶日本NGO連絡会が活動しており、日本被団協や原水協、原水禁などの主だった団体が参加し、反核医師の会も参加してきました。

核兵器禁止条約(TPNW)が2017年に国連で採択され、2021年に発効して、現在、93か国が署名し70か国が批准しています。唯一の戦争による被爆国である日本が、このTPNWに参加すれば、状況は一

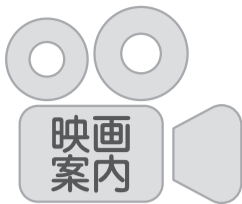
変化します。NGO連絡会では、日本がTPNWに参加するために、今まで以上に大きな運動を作らなければならないとし、そのための資金やスタッフを確保するために、一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」を4月1日に立ち上げました。

この法人は「遅くとも2030年までに日本をTPNWに参加させる」ことを目的にしています。この法人を支える組織として、今までのゆるやかな連絡会としていた

に変わります。NGO連絡会では、日本がTPNWに参加するために、今まで以上に大きな運動を作らなければならないとし、そのための資金やスタッフを確保するために、一般社団法人「核兵器をなくす日本キャンペーン」を4月1日に立ち上げました。



映画『オッペンハイマー』©Universal Pictures. All Rights Reserved. (配給元「ビタース・エンド」)より



「オッペンハイマー」

2024年日本公開
クリストファー・ノーラン監督作品

本作品は、原爆の父と呼ばれたJ. ロバート・オッペンハイマーの半生

について、原爆開発に至る経緯、その後の冷戦期にロシアのスパイ容疑を

かけられた聴聞会、そして宿敵であるアメリカ原

子力委員長ルイス・スト

核兵器にお金を貸すな 歌でDBOBを伝える キャンペーンソングが完成

近畿反核医師懇談会



交流会で歌を紹介する中村世話人 (写真中央)

核なき世界をつくる DBOBって知ってるかい?」

近畿反核医師懇談会は、金融機関による核兵器製造企業への投資を止めさせる「Don't bank on the bomb」(DBOB)

「歌いたくなる」と好評

「核兵器をつくる会社にお金を貸すのはやめよう」と歌い上げ、DBOBキャンペーンへの理解を促し、子どもや若い世代が歌いながら楽しく学べるように工夫した。シンプルでリスミカルなメロディーは聴いている

曲の最後は「子どもたちに核なき世界を未来の平和をつくる一歩」と締めくくり、反核医師の会の若手医療者・介護従事者が取り組む「いっばプロジェクト」へのつながりを意識した歌詞にもなっている。

DBOB
キャンペーンソング

核なき世界をつくる
DBOBって知ってるかい?
核なき未来を目指す活動なんだ
核兵器をつくる会社にお金を貸すのはやめよう
金融機関に呼びかける
大切な運動なんだ

Don't bank on the bomb
核兵器にお金を貸すな
Don't bank on the bomb
子どもたちに核なき世界を
未来の平和をつくる一歩

ミュージックビデオも

4月20日に東京で開かれた「核兵器をなくす日本キャンペーン」発足記念シンポジウム後の交流会で初めて一般に披露した。DBOBの活動紹介とともに

歌はインターネットを通じて作詞作曲を専門家に依頼。同会で歌詞を練り上げ、1分ほどの曲にまとめた。同会のYouTube動画の冒頭に流したり、街頭宣伝やデモ行進の際に歌ったりしながらアピールする予定。歌詞の内容やDBOBの



DBOBキャンペーンソングは「チラシから



(世話人 中村新太郎)

ローズの公聴会という3つの時系列が交錯するストーリー展開だ。大部分はオッペンハイマーの一人称で進み、モノクロシ

ーンはストローズの視点で描かれるが、徹底しているのは「完全なるアメリカ側の視点」だ。ここが賛否の分かれるところだが、こうでなければならなかったと感じている。これがまさに「現実」だからだ。

現在、沖縄には在日米軍用施設の約7割が集中し、新基地建設が強制的に行われているが、政府や本土の人間に、沖縄の人びとの生活は見えていくだろうか。また、イスラエルによるパレスチナでの民族浄化に、日本を含む世界は、今も加担し

続けている。そんな私たちにパレスチナの人びとは見えていくだろうか。原爆投下後の映像からオッペンハイマーが目背けるシーンがある。どんなに葛藤しようとも、被害者から目を背けることのできる立場にいる。今の私たちの姿ではないのか。私たちに問われているのは、唯一の戦争被爆国に暮らす人間としてどう考えるか、だけではない。構造の中に組み込まれた、加害者としての責任をどう引き受けるか、が問われている。

人類史上初めてとなった核実験「トリニティ実験」の場面で、オッペンハイマーを含む科学者たちが歓声を上げるシーンがある。実験場となった

この作品を通して私たちに突きつけられた問いに、反核医師の会の皆さんと共に行動で応えていきたい。(小内ゆい 勤医協札幌病院産婦人科)

会費納入のおねがい

反核医師の会は、会員みなさまの会費と、主旨に賛同いただいている募金によって運営しています。

本年は第20回全国大会の他、「つどい in 沖縄」を11月3日～4日に開催するなどの取り組みが予定されています。2024年度(2024年4月1日～2025年3月31日)の会費納入のほど、よろしく願いいたします。

- 個人会員 (医師・歯科医師、医学者) 10,000円
- 専攻医 5,000円
- 研修医 (卒後2年まで) 3,000円
- 医・歯学生会員 1,000円
- 賛助会員 1,000円

2024年6月9日反核医師の会全国大会にて一部改定

振込先
 ◇りそな銀行新都心営業部普通1557502
 「反核医師・医学者の集い」
 ◇ゆうちょ銀行 (他銀行からの振り込みの場合)
 ○一九支店 当座0056764「反核医師・医学者の集い」
 ◇郵便振替00170-7-56764「反核医師・医学者の集い」